

地域おこし協力隊活動実績報告書

隊員氏名：米澤弥央

- ・活動期間：令和5年4月1日～令和6年3月31日  
(委嘱日：令和4年9月1日)

1. 隊員の活動テーマ

活動テーマ	定住促進 ※共通
より具体的なミッション	<p>1. 地域農業の活性化 農業をしている個人・団体からの情報を集約し、共有できるプラットフォームをつくり、農家同士の結びつきを強め、共通の課題解決に取り組み、地域農業を活性化させる。</p> <p>2. 「食」と「農」を通じた魅力発信 地域の伝統食文化や農産物の調査を行い、歴史的文化的背景を交えて食と農の魅力を発信し、南丹市や農業に興味を持ってもらえるように取組を行う。</p>

2. 活動の検証

(1) 定住促進への直接的効果

移住等の相談を受けた件数	7件 ( 9人)
移住希望者に現地案内などの活動を行った件数	3件 ( 5人)
うち移住につながった人数	件 ( 人)
うち移住につながる可能性のある人数	1件 ( 1人)
具体的な相談の内容	<p>地方移住に関心のある方を南丹市内で行われる農業関連のイベントなどに参加してもらい、その前後に南丹市を案内。 興味関心のある分野の方に繋いだりした。</p> <p>(移住につながる可能性のある人) 地域おこし協力隊として働くことを視野に入れている知人を数日間に渡り案内し、南丹市内の魅力、また現在の課題などを知ってもらった。</p>

今後の展開や展望または反省点など	引き続き南丹市についての発信を続ける。 南丹市に興味を持ってくれた方により南丹市での暮らしをイメージしてもらいやすいよう、発信内容、案内の仕方など改善する。 移住予定の方には南丹市を住みやすい場所と思ってもらえるよう、サポートする。
------------------	--

(2) 具体的な活動について

活動を展開した地域数と名称	地 域 数： 2 地域 地域の名称：(園部町摩気地域・八木町新庄地域)
移住者受け入れや地域振興への意識が高まったと思われる地域数と名称	地 域 数： 2 地域 地域の名称：(園部町摩気地域・八木町新庄地域)
今後継続的なアプローチにより意識が高まる見込みの地域数と名称	地 域 数： 2 地域 地域の名称：(園部町摩気地域・八木町新庄地域)

活動内容	現在の課題	期待する成果・展望
摩気地域おはぎ開発	製造体制 販売ルート	有機農業に関心のある方の摩気地域への移住促進。
新庄小学校の活用支援	空き教室の活用	廃校を地域活性の場にすることで負の遺産としてではなく有効活用し資源化する。
南丹市内の農業関連イベント協力	広報で使うデザインや動画の作成など、自分のスキルを生かす	地場産業の活性化。 外部から人が来る機会を増やすことによる、認知向上。

### 3. 活動表

活動年	実績・効果、目標
1年目	<p>(実績) 南丹市で自分のミッション達成に必要な情報を得る、また人脈を作るのが就任後最初の目標でしたがたくさんの方々の支援もあり少しずつではあるが具体的な活動が出来るようになってきた。</p> <p>(効果) 地盤を固めることで活動がしやすくなった。</p> <p>(実績) 外部の方を招いてのイベント企画や、南丹市外での南丹市 PR を含めた食材販売促進。地域の野菜を使った加工品開発。</p> <p>(効果) 南丹市外の方に向けての南丹市の PR が出来た。</p> <p>(実績) 南丹市で行われるイベントへのスタッフとしての参加などを通し、協力隊の活動を知ってもらう機会が多かった。</p> <p>(効果) 地域の方に協力隊としての活動を認知していただくことで新たなつながりが生まれたり、応援して頂けたりした。</p>
2年目	<p>(実績) 南丹市内の農業関連イベント協力</p> <p>(効果) 多くの方が南丹市内外から参加し、出店者として、またスタッフとしてより地域の魅力に触れる機会となった。</p> <p>(実績) 南丹市外への農産物販路開拓</p> <p>(効果) 多くの方に南丹市の美味しい食材を知ってもらうことができた。一部継続した取引の可能性あり。</p> <p>(目標) 引き続き南丹市内の有機農業にまつわる情報を収集し、新規就農で有機農業をしたい方が情報を得ることができる体制を整えるための、引き続き対象者を募る</p> <p>(効果) 南丹市内の有機農業を行っている方が参考に出来るデータを取ることで南丹市内の有機農業を底上げする。またその情報は新規就農を考えている方に向けても公開することで移住・就農へのハードルを下げそれらを促進することに繋がる。</p> <p>(目標) ふるさと納税同梱物の作成</p> <p>(効果) 南丹市のふるさと納税の販売促進。また購入していただいた方に南丹市の魅力を知ってもらうことで再支援を促す。</p>

活動年	実績・効果、目標
3年目	<p>(目標) 引き続き南丹市内の農業にまつわる情報を収集。関係人口を増やすことで移住定住促進に向けての機会を作る(イベントやセミナー、ワーファーマーなど企画)</p> <p>(活動目的) ゆくゆく移住を視野に短期的長期的に関わっていただける機会を設けることで、南丹市を知って、好きになってもらう。</p> <p>(目標) 農業関連のイベント企画</p> <p>(活動目的) 地域内でのさまざまな農業について学ぶ機会を設け、横のつながりをより強化する。</p> <p>(目標) 南丹市内飲食出店</p> <p>(活動目的) 協力隊活動終了後の南丹市定住に向け、自らのビジネスを確立する。</p>
任期後に得たい成果・変化(自分自身・地域・関係者)	<p>有機農業に関するデータを活用し、移住へのハードルを下げる。また地域間での情報共有を通じた全体的な底上げ。</p> <p>地域の方々によって廃校が地元の活性化の場となる仕組みの構築。</p> <p>農、地域資源を使ったレシピの開発を通して自らのスキル・キャリアアップ。</p>